

平成24年度（2012年度）千葉大学文学部史学科 社会人入試学生募集要項

趣 旨

史学科では、すでに社会人として経験を持ち、なお大学での歴史学の勉学を希望する者を対象に、社会人入試を実施しています。

※「文学部入学者受入れの方針」の全文は次のURLに掲載されております。

<http://www.chiba-u.jp/exam/entrance/01bungakubu.pdf>

1. 募集人員

2名

2. 出願資格

平成24（2012）年4月1日現在28歳に達し、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者又は平成24（2012）年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

3. 出願期間

平成23年10月11日（火）から10月14日（金）17時まで

4. 出願手続

出願はすべて「簡易書留郵便」で郵送によるものとし、10月14日（金）17時までに必着とします。郵送するに当たっては、配達に要する日数に十分注意してください。

(1) 出願に必要な書類

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-----------------------|--|
| 志 願 票・ 受 験 票・写 真 票 | 本学部所定のもの（受験票と写真票に、出願3か月以内に撮影した上半身、正面、脱帽の写真を所定の欄に貼付してください。） |
| 志 願 理 由 書 | 本学部所定のもの |
| 調 査 書 | 出身学校長（高等学校長）が作成し、厳封したもの <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃校、罹災、その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績表、その他入学志願者が提出できる書類をもってこれに代えることができます。 ○ 本人が罹災等により上記の書類を整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれらに代る証明書を提出してください。 ○ 高等学校卒業程度認定試験の合格者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）については、当該の成績証明書をもって、調査書に代えることができます。 |
| 履 歴 書 | 本学部所定のもの 過去5年間以上の職歴、その他社会人としての経験を明記してください。 |

| 書 類 等 | 摘 要 |
|------------------------------|--|
| 検 定 料 | <p>入学志願者は出願前に最寄りの銀行等（ゆうちょ銀行は除く）に行き、本募集要項の所定用紙（検定料振込用紙）を使い、検定料17,000円を必ず窓口（自動振込機使用不可）で振り込んでください。振込方法は電信扱い、振込手数料は本人負担となります。</p> <p>入学志願票の裏に検定料の振込証明書「貼付用（大学提出用）」を貼ってください。なお、「貼付用（大学提出用）」に取扱金融機関出納印がないものは無効となりますので、金融機関で受領した際に必ず確認してください。</p> <p>○納入された検定料は、原則返還しません。但し、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が所定の返還手続を行った場合は、全額返還します。手続期限は、平成24年3月30日です。</p> <p>○返還の手続の詳細については、学務グループに確認してください。</p> |
| 返 信 用 封 筒 （ 受 験 票 送 付 用 ） | 本学部所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、380円分の郵便切手（簡易書留料金を含みます。）を貼ってください。 |
| 住 所 シ ー ル | 入学手続き関係書類等の送付に使用しますので、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。 |

[注] 外国人については、登録原票記載事項証明書を提出してください（登録していない場合には、パスポートの写しでも差し支えありません。）

(2) 出願書類提出上の注意

- ① 提出書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は、出願書類を受理しません。
- ② 出願書類受付後は、出願事項の変更は認めません。

(3) 出願書類の郵送先

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1番33号 千葉大学文学部学務グループ

5. 選 抜 方 法

提出された書類、小論文及び面接を行い、総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）

(1) 小論文及び面接の日時等

| 期 日 | 試験科目等 | 時 間 | 場 所 |
|---------------|-------|-------------|---------|
| 平成23年10月30（日） | 小 論 文 | 10：00～11：30 | 千葉大学文学部 |
| | 面 接 | 13：00～ | |

6. 合 格 者 発 表

入学者選抜の結果、合格した者は12月14日（水）14時に文学部掲示板に掲示（1週間）し、同時に「合格通知書」を入学志願票に記載した連絡先あてに簡易書留郵便で送付します。

電話による問い合わせには応じません。

7. 身 体 に 障 害 を 有 す る 入 学 志 願 者 等 の 事 前 相 談

出願を希望する者で、身体に障害があり、受験上又は修学上、特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ本学部に事前相談の申請を行ってください。

- (1) 事前相談の締切日：平成23年9月22日（木）
- (2) 提出書類：① 事前相談申請書（用紙は文学部学務グループに請求してください）
② 障害の種類及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書
- (3) 事前相談の方法：事前相談申請書に基づき、本学関係者で検討します。必要がある場合、本人、保護者または出身校関係者に照会することがありますので留意してください。
- (4) 事前相談申請書用紙の請求先及び書類提出先：千葉大学文学部学務グループ
電話 043 (290) 2352 〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1番33号

8. 入学手続

合格者には平成24年1月下旬頃、入学手続に必要な書類を送付しますので、次の期間に所定の手続きを行ってください。

手続期間 平成24年3月14日(水)、15日(木)

場 所 千葉大学文学部

〔注〕入学手続の際には、本試験の受験票の提示を求めます。

9. 入学時の必要経費

① 入学料 282,000円

② 授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)

(なお、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料等が適用されます。)

授業料の納入については、希望により前期分納入の際に、後期分も合わせて納入できます。

〔注〕入学料及び授業料が免除される制度があります。

詳細は、学生部学生支援課にお問い合わせください。

TEL 043-290-2178, 2169

③ 学生保健互助会費

8,000円(4年分)全員加入(郵便局またはゆうちょ銀行で払込)

(疾病負傷の際に相互に救済し、進んで健康保持に寄与することを目的としております。)

〔注〕詳細は、総合安全衛生管理機構(学生保健部)にお問い合わせください。

TEL 043-290-2220

④ 学生教育研究災害傷害保険料(付帯賠償責任保険Aコース含む)

4,660円(4年分)全員加入(郵便局またはゆうちょ銀行で払込)(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)

〔注〕詳細は、学生部学生支援課にお問い合わせください。

TEL 043-290-2168

⑤ いったん納入した経費(入学料)は、いかなる理由があっても返還できません。

10. 受験に関する注意

(1) 受験に関する注意事項は、10月28日(金)9時から文学部掲示板に掲示しますので試験当日までに必ず見に来てください。

(2) 試験室には、必ず受験票を携帯し、係員の指示に従い所定の場所に置いてください。

(3) 宿泊場所等の斡旋はできませんので、各自で手配してください。

(4) 入学者選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

(5) その他の受験に関する照会は、文学部学務グループへお問い合わせください。

(6) 千葉大学文学部への道順

・JR総武線「西千葉」駅下車、北口から徒歩で文学部棟まで約10分です。

・京成千葉線「みどり台」駅下車、徒歩で文学部棟まで約10分です。

平成23年(2011年)7月

千葉大学文学部学務グループ

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

☎043(290)2352

学 科 案 内

〔史 学 科〕

史学科では、これまで、日本史、東洋史、西洋史という枠組みにとらわれずに、世界史的観点に立って歴史学を研究・教育することを特徴としてきました。また、これに加えて、「もの」「かたち」「文字」という三つの文化伝達要素にそくして歴史学を考えるための新しい分野も、従来の歴史と並べて展開します。「もの」に関係する授業科目としては、文化財学、考古学、美術史、歴史民俗学、宗教文化史、都市史などがあり、人類が作り出した物質や道具の歴史を通して歴史を考えます。「かたち」に関係する授業科目としては、図像情報史学、図像解釈学、記録史料学、歴史情報論、オーラルヒストリーなどがあり、人類の歴史を文献のみならず、図像、イメージ、音声、画像などの史料を駆使して考えます。「文字」に関する歴史学についても、日本史、アジア史、ヨーロッパ史文書学といった旧来の歴史学の分野に加えて、国際社会史、マイノリティ史、歴史社会学、思想史、文化史といった分野、あるいはアフリカ史、アメリカ史、東欧・バルカン史、イスラーム地域史といった領域を新設し、人類の歴史を広く国際的な視野から、また人々の生活や社会的関係の面から考える体制をとっています。学生諸君は、歴史学入門という小人数ゼミにおいて高等学校までの歴史の勉強とは違う歴史学の世界に導かれ、史学方法論で新たな歴史学の方法を学び、各種概説を受講し、種々の方法的訓練を受けた後、多様な専門科目を自由に履修することができます。史学科には、専修コースのような枠がないので、学生のみなさんは、自己の関心に応じて、さまざまな地域的歴史を、多彩な文化伝達要素にそくして研究することができます。また、博物館・美術館の学芸員、文書館のアーキビストなどの養成にも努めています。